

An aerial photograph of Mount Fuji, a large snow-capped mountain, dominating the background. In the foreground, a dense urban area is visible, with a river winding through it. The sky is clear and blue.

沼津駅付近鉄道高架事業 に関する有識者会議

【参考資料】

平成23年5月13日

1. 沼津駅付近鉄道高架事業

沼津市中心市街地の現状

- 交通混雑
- 自転車・歩行者動線不足
- 南北市街地分断
- 中心市街地の低迷

鉄道高架事業

土地区画整理事業

市街地再開発事業

車両基地移転

貨物駅移転

交通の円滑化

にぎわいの創出

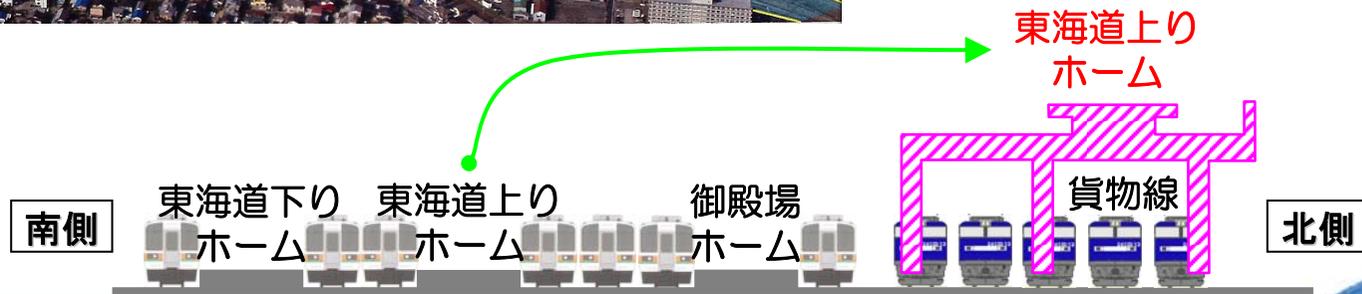
土地の有効利用

にぎわいと活力のある県東部拠点都市の創出

1. 沼津駅付近鉄道高架事業／施工手順



- 現貨物駅は、東海道本線を南北から挟み込んだ形状
- 高架本体工事は、この現貨物駅を活用し、北側から順次施工する計画



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

2. 交通対策／課題

交通渋滞



3.8m高さ制限



急カーブによる交通事故



冠水



自転車の押し歩き



冠水

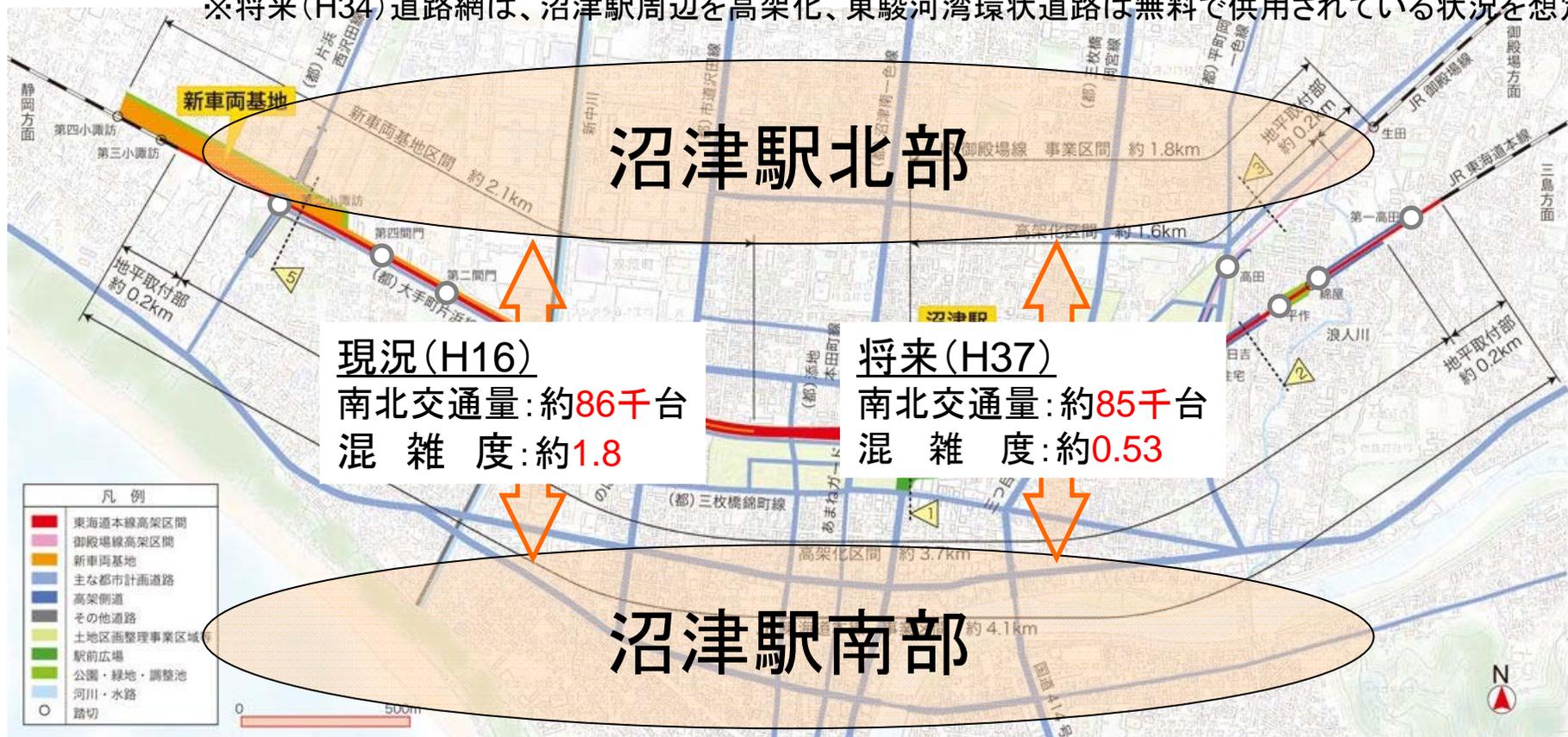


いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

2. 交通対策／南北交通量

- 現況(H16)の南北交通量は約86千台／日、南北断面混雑度は1.8。
●大幅に交通容量が不足している。
- 将来(H37)の南北交通量は約85千台／日、南北断面混雑度は0.53。
○南北を円滑に走行できるようになる。

※将来(H34)道路網は、沼津駅周辺を高架化、東駿河湾環状道路は無料で供用されている状況を想定

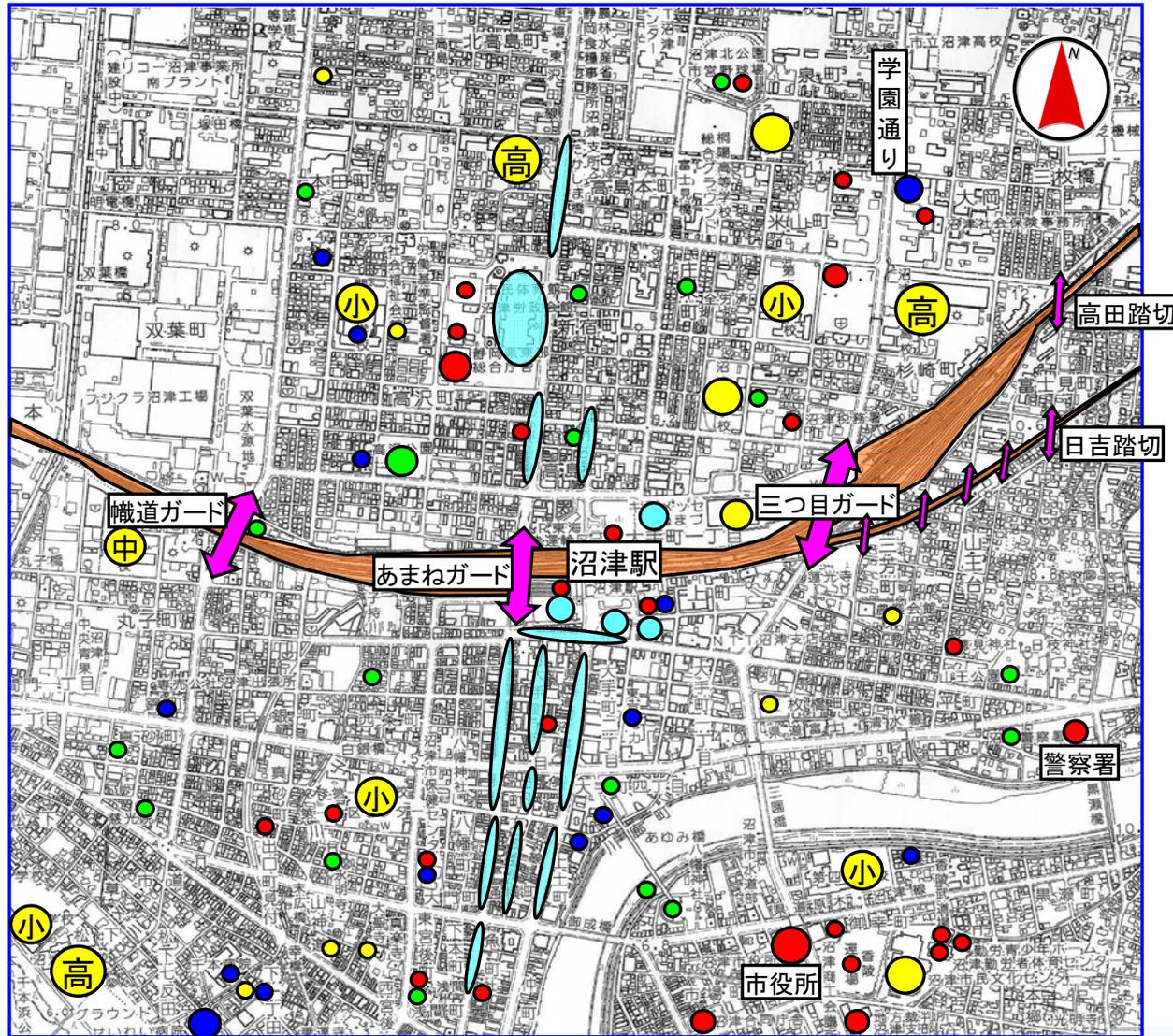


出典：第2回東駿河湾都市圏総合都市交通体系調査、平成16年～18年

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

2. 交通対策／南北市街地の分断

■ 鉄道線路により歩行者・自動車の南北間の円滑な流動を妨げられている。

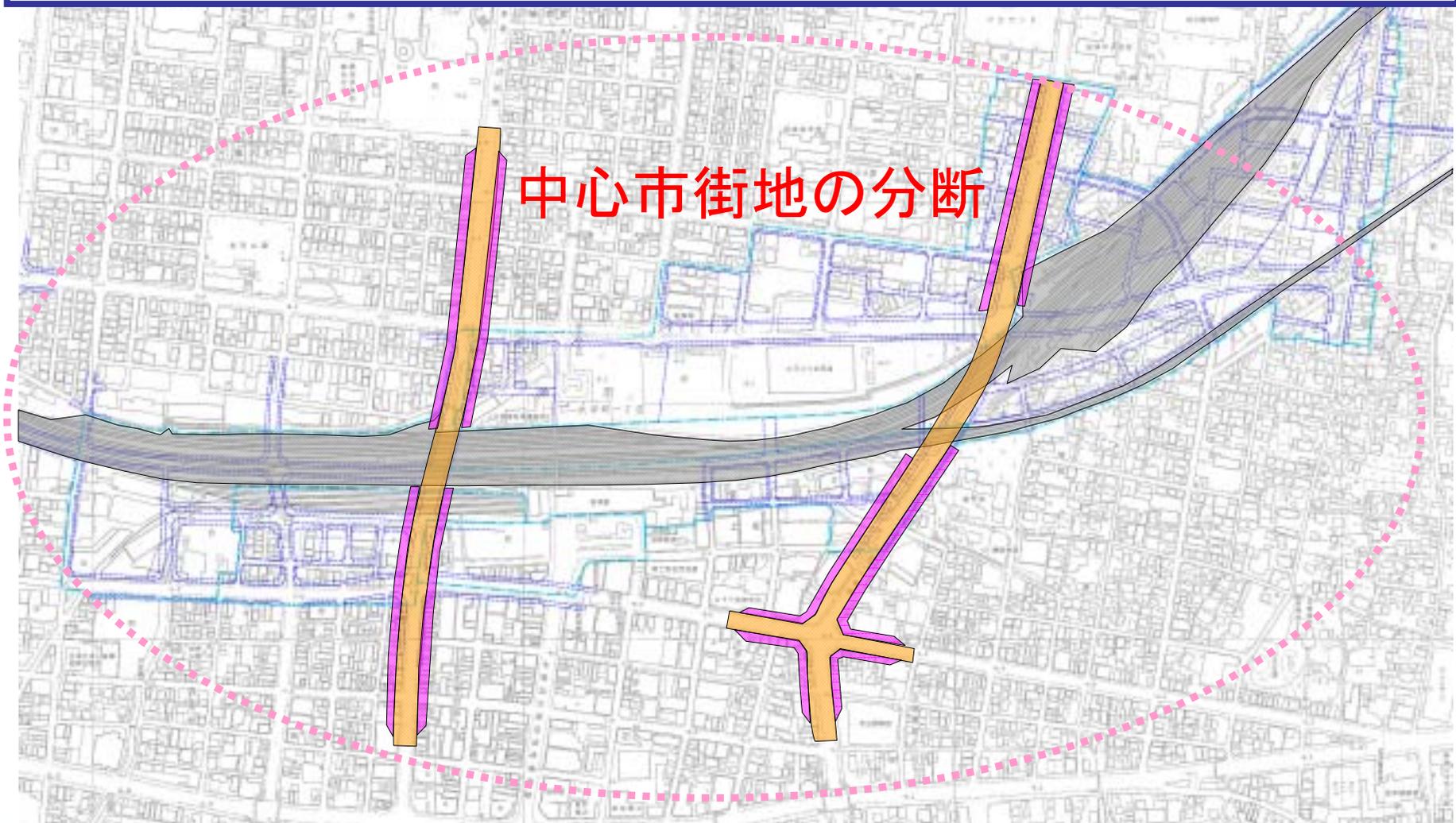


- (凡 例)
- 鉄道横断可能箇所
 - 医療・福祉施設
 - 公園・緑地等
 - 公共・公益施設
 - 教育・文化施設
 - ショッピングセンター
 - 商店街

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

3. 地域振興・まちづくり／道路の高架化

- 鉄道による南北市街地分断に加え、道路の高架化により東西市街地も分断される



3. 地域振興・まちづくり／道路の地下化、橋上駅化

【道路の地下化】

■ 冠水問題が未解決

- 南北自動車交通は解消されるが、自転車歩行者の移動は困難なまま
- 市街地が東西南北に分断される
- 生活道路を確保するため側道の設置が必要となる

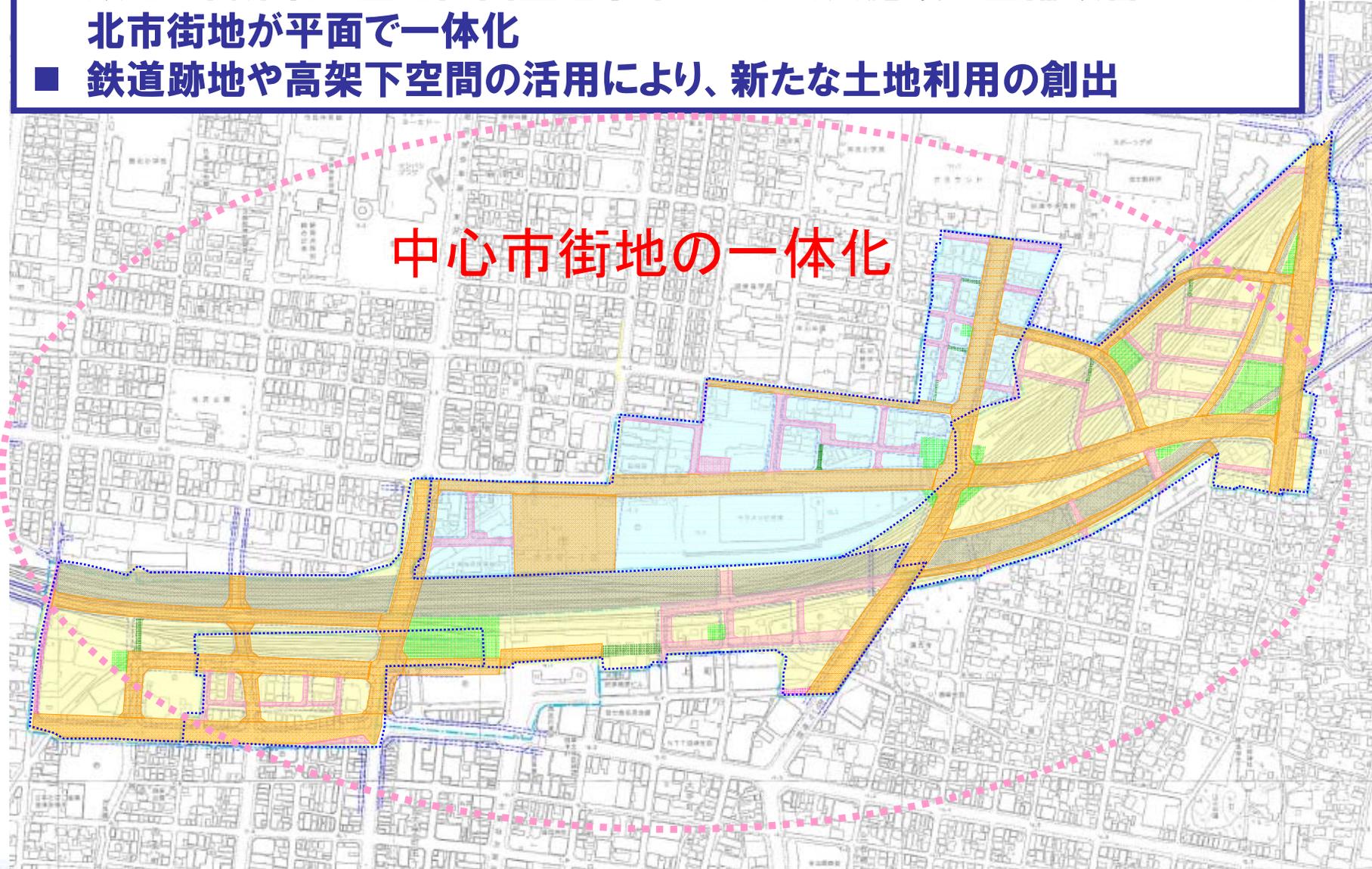
【橋上駅、自由通路】

- 歩行者の利便性は向上するが、自転車動線はこれまでと変わらない
- 歩行者の南北横断に上下移動が生じる
- 自動車交通問題(渋滞、冠水、三ツ目ガード高さ制限等)が解決しない

3. 地域振興・まちづくり／現計画

- 鉄道の高架化と土地区画整理事業による公共施設の整備改善により南北市街地が平面で一体化
- 鉄道跡地や高架下空間の活用により、新たな土地利用の創出

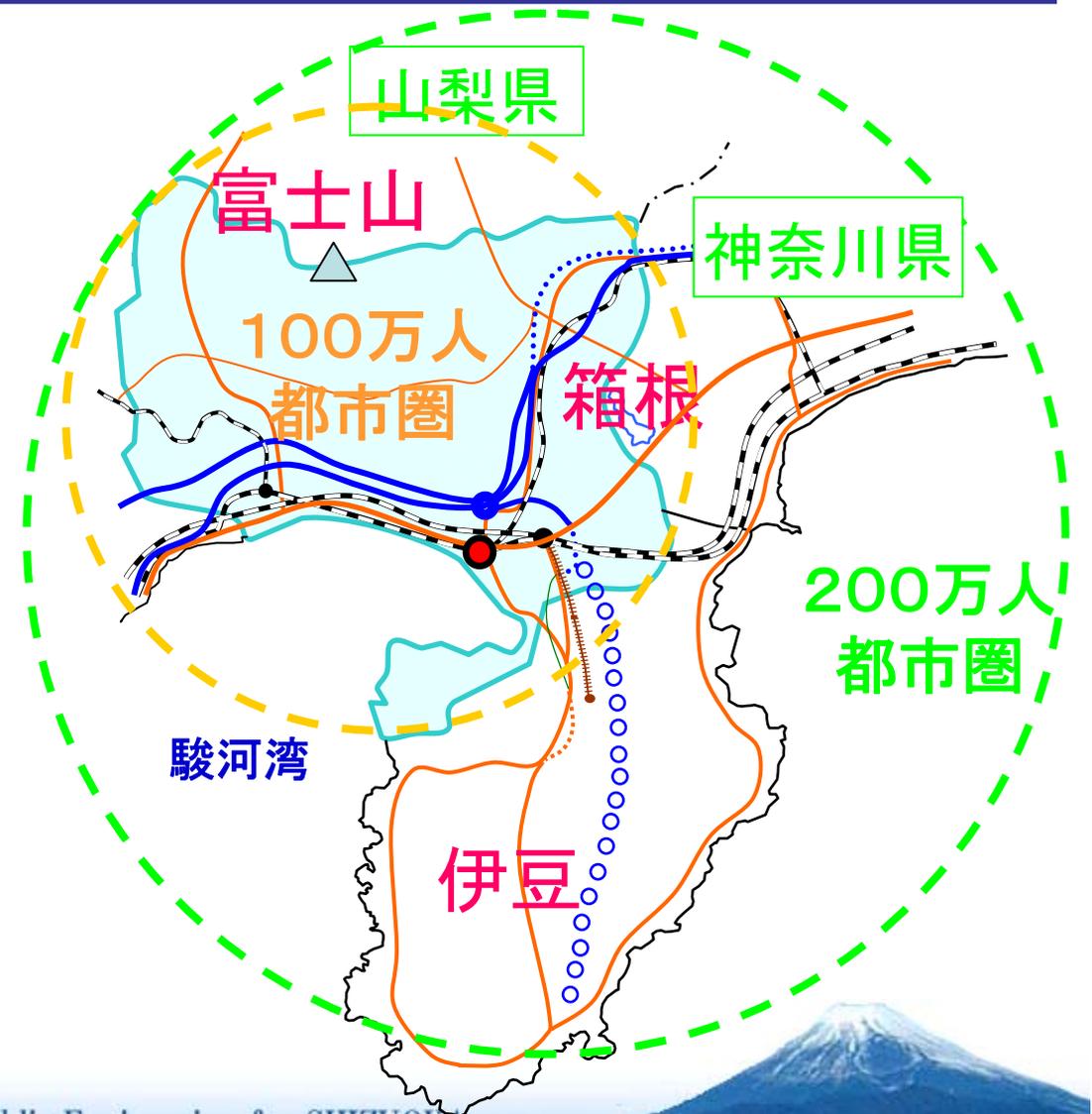
中心市街地の一体化



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

日本のシンボル富士山を世界との交流舞台とした健康交流都市圏

- 医療健康関連産業の集積と交流による都市圏の形成
- ファルマバレープロジェクトの推進
- 富士山の世界文化遺産登録への取組
- 地域一体の「100万人都市圏」の形成と、伊豆・神奈川・山梨との連携強化による「200万人都市圏」の形成を視野にいたした広域交流・連携の促進



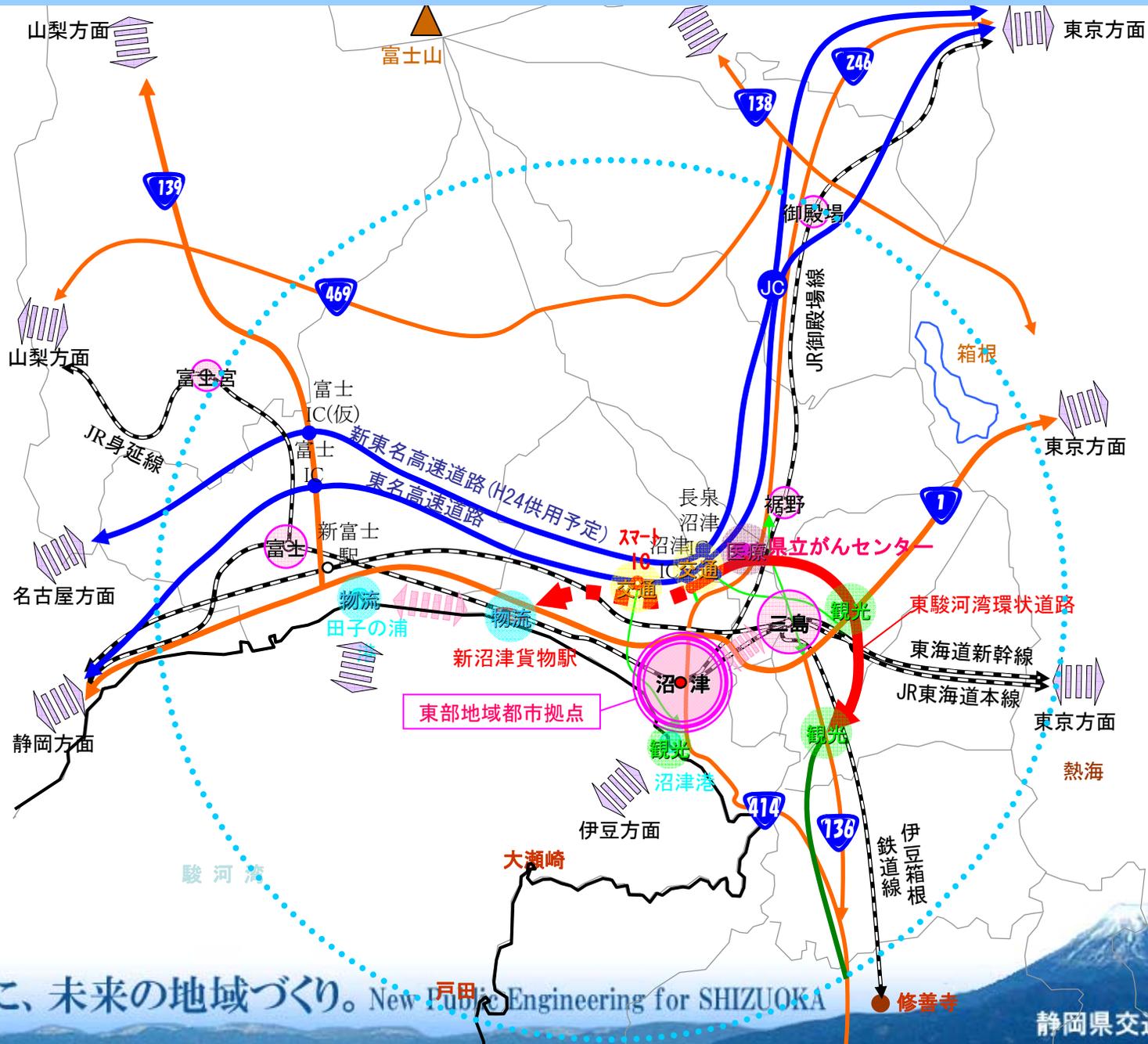
人と環境を大切に作る県東部広域拠点都市・沼津

県東部広域拠点都市

- 商業、業務、医療、教育、文化、芸術などの高次都市機能の集積による高度な都市的サービスを近隣市町に提供する県東部地域の中心のまち
- 人・物・情報の活発な交流が、県東部地域を越え、国内遠隔地や海外にも広がったまち
- 県東部地域の行政、経済、教育、文化等の中心のまちとして、地域の発展を牽引するまち

出典：第4次沼津市総合計画基本構想

3. 地域振興・まちづくり／県東部拠点にふさわしいまちづくり



3. 地域振興・まちづくり／新たな都心づくり

鉄道高架事業
新車両基地
片浜西沢田線
大手町片浜線

土地区画整理事業(都市機構)
三枚橋岡宮線
沼津南一色線
添地本田町線
市道沢田線

東部コンベンションセンター
国道414号
高架側道10号線
高架側道6号線
7号線
8号線
9号線
平町岡一色線

新貨物駅
貨物駅周辺
車両基地周辺
鉄道高架関連事業

市街地再開発事業

土地区画整理事業(沼津市)

沼津駅

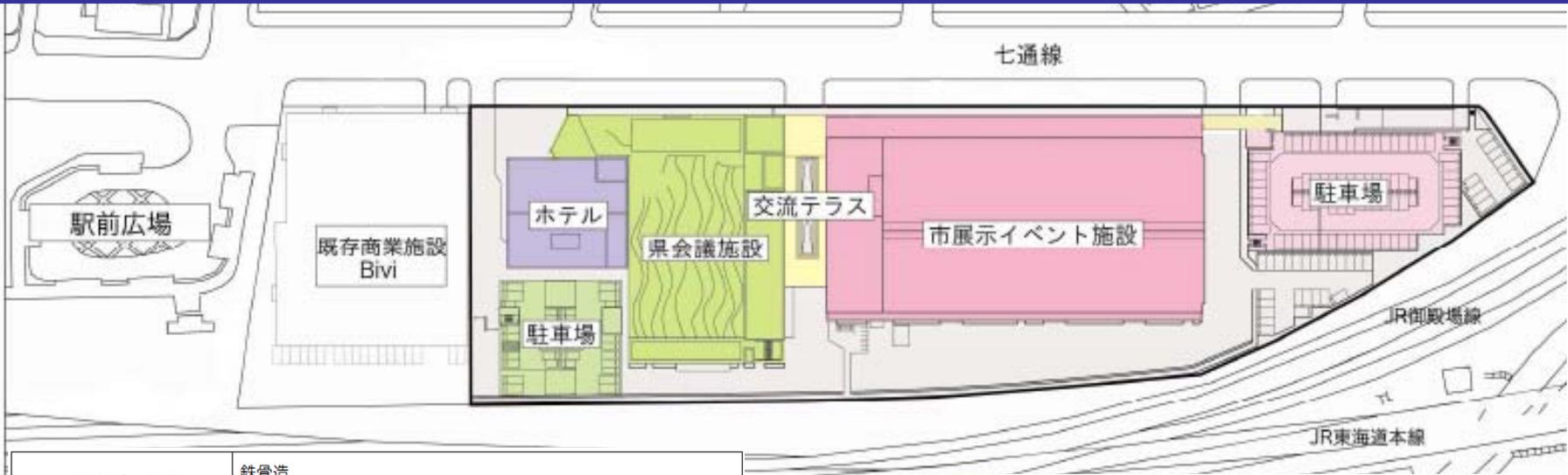
Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

3. 地域振興・まちづくり／東部コンベンションセンター

東部コンベンションセンター建設事業

『多様で先進的な人・もの・情報が交流し、新たな都市拠点を形成する「東部コンベンションセンター」』

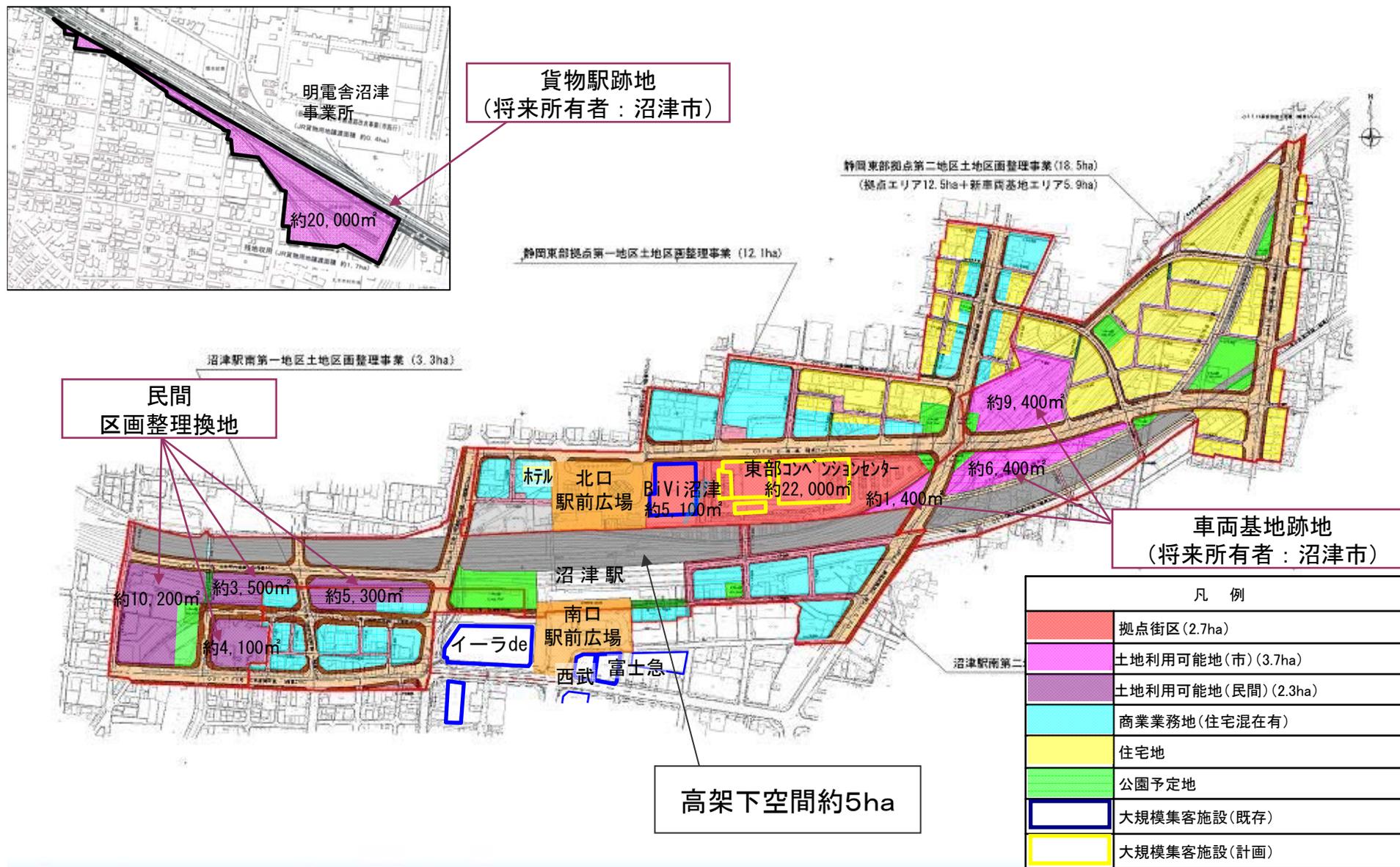


建物構造・規模	鉄骨造 最高高さ：約41m 総延床面積：41,601㎡	
施設の種類	延床面積	機能等
県 会議場施設	15,361㎡	メイン会議室（最大収容人数 約1,300人） 大会議室（最大収容人数 約400人） 中小会議室計12室（最大分割時17室） インフォメーションコーナー 県特産飲食物販売コーナー 駐車場 等
沼津市 展示イベント施設	8,841㎡	展示面積 約3,900㎡ 市民ギャラリー 約620㎡ 等
沼津市 駐車場	9,908㎡	480台
民間 ホテル	7,491㎡	11階建 客室総数150室 レストラン、バー 等



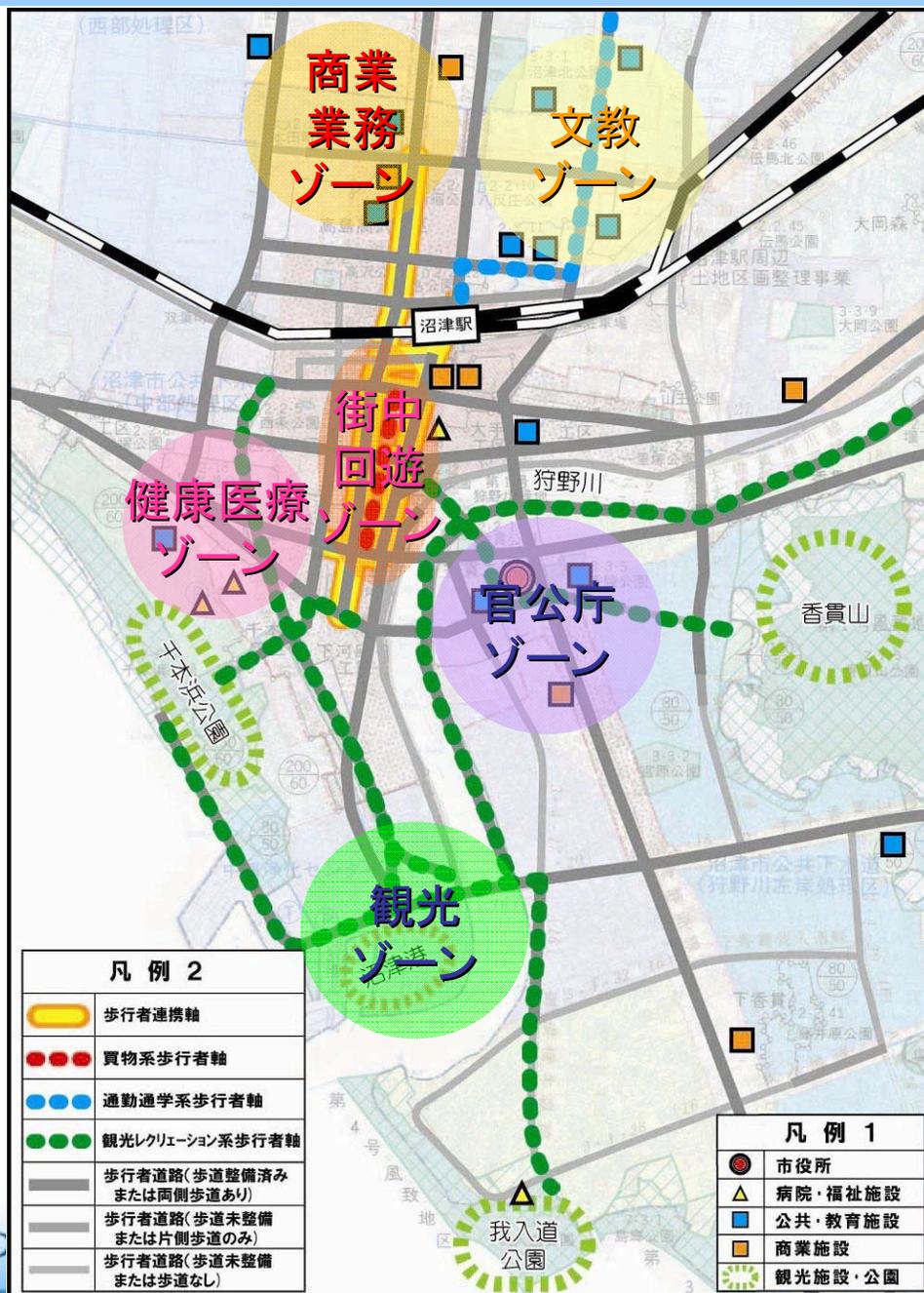
いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

3. 地域振興・まちづくり／新たな都心づくり(跡地利用)



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

3. 地域振興・まちづくり／新たな都心づくり(回遊性の向上)



- 鉄道の高架化により、南北市街地の回遊性が高まる
- 沼津港までを含めた一体的なまちづくりが可能となる

4. 物流／ものづくりを支える物流

静岡県工業の全国順位 = 事業所数5位、従業者数3位、製造品出荷額等2位

順位	事業所数				従業者数				製造品出荷額等			
	都道府県	(事業所)	前年比 (%)	前年順位	都道府県	(人)	前年比 (%)	前年順位	都道府県	(億円)	前年比 (%)	前年順位
1	大阪	21,315	▲ 11.9	1	愛知	795,030	▲ 7.3	1	愛知	342,076	▲ 26.3	1
2	愛知	19,635	▲ 10.1	2	大阪	480,306	▲ 8.8	2	静岡	150,329	▲ 21.6	3
3	東京	16,446	▲ 14.7	3	静岡	410,651	▲ 8.0	3	神奈川	147,915	▲ 24.1	2
4	埼玉	13,576	▲ 12.5	4	神奈川	389,290	▲ 8.4	5	大阪	146,661	▲ 19.2	4
5	静岡	11,259	▲ 10.2	5	埼玉	387,507	▲ 10.4	4	兵庫	133,840	▲ 18.9	5
6	兵庫	10,125	▲ 9.2	6	兵庫	361,177	▲ 6.4	6	千葉	122,404	▲ 20.8	6
7	神奈川	9,592	▲ 13.0	7	東京	318,488	▲ 12.2	7	埼玉	116,049	▲ 20.8	7
8	岐阜	6,822	▲ 11.4	8	茨城	263,931	▲ 8.0	8	茨城	96,291	▲ 21.8	8
9	福岡	6,400	▲ 8.2	9	千葉	214,277	▲ 6.2	9	三重	93,195	▲ 20.7	9
10	茨城	6,163	▲ 8.9	10	福岡	212,846	▲ 6.5	10	広島	78,809	▲ 23.4	10
	全国	235,238	▲ 10.6		全国	7,671,198	▲ 8.3		全国	2,628,503	▲ 21.7	

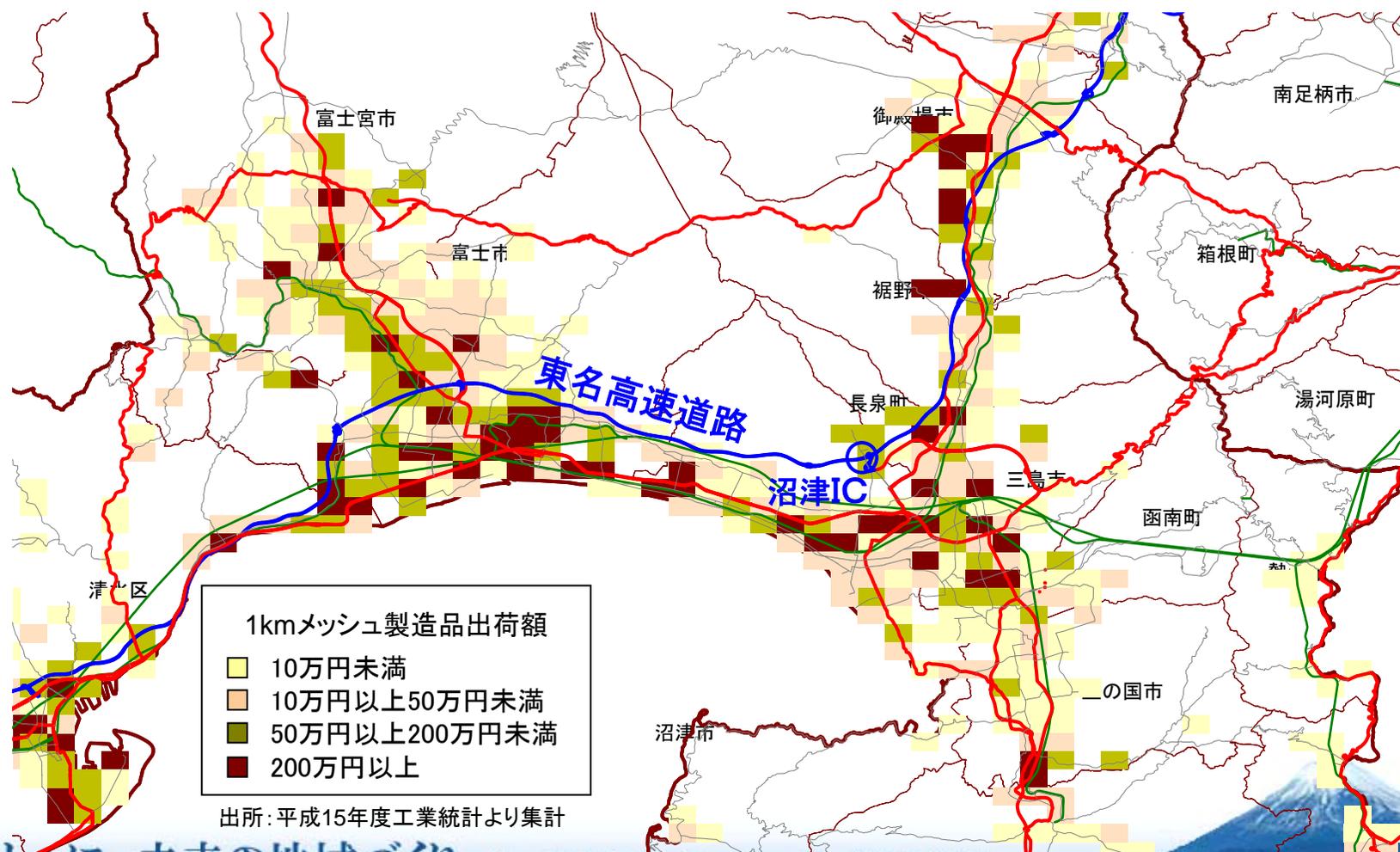
【上位5市町】

順位	事業所数				従業者数				製造品出荷額等			
	市名	(事業所)	前年比 (%)	前年順位	市名	(人)	前年比 (%)	前年順位	市名	(百万円)	前年比 (%)	前年順位
1	浜松市	2,445	▲ 13.1	1	浜松市	77,661	▲ 12.0	1	浜松市	2,098,101	▲ 26.9	1
2	静岡市	1,687	▲ 8.3	2	静岡市	46,278	▲ 5.1	2	磐田市	1,621,186	▲ 30.7	2
3	富士市	957	▲ 9.1	3	磐田市	36,505	▲ 4.6	3	静岡市	1,528,631	▲ 17.2	3
4	沼津市	679	▲ 9.9	4	富士市	35,038	▲ 6.0	4	湖西市	1,407,746	▲ 20.0	4
5	磐田市	668	▲ 8.9	5	沼津市	20,366	▲ 4.2	6	富士市	1,351,329	▲ 14.7	6

出所:平成21年工業統計調査結果(速報)(静岡県)

4. 物流／ものづくりを支える物流

- 東名高速道路沿線で製造品出荷額が多いほか、沼津ICから伊豆の国市へ至る南北方向にも企業の集積が進んでいる。
- 沼津市は、これら産業集積地域のほぼ中央に位置している。



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

3. 物流／ものづくりを支える物流

- 距離帯が長いほど鉄道やフェリーの分担率は高くなる傾向にある。
- 特に県東部では、1,000km以上の距離帯における鉄道分担率は約20%を占める。

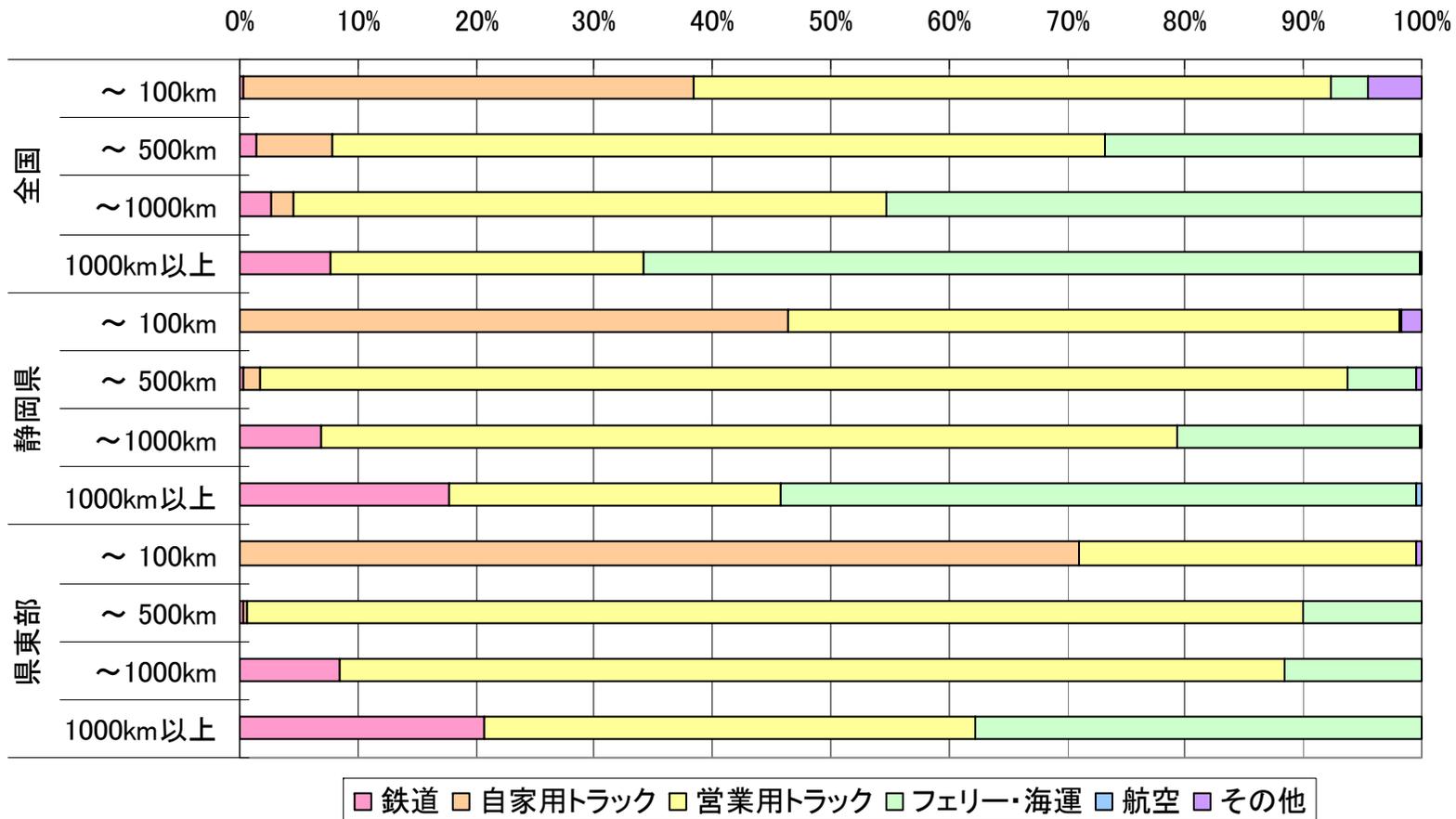


図 地域別距離帯別分担率(発生トンベース)

出所:平成17年度全国貨物純流動調査より集計(発生トンベース)

4. 物流／静岡県の鉄道貨物輸送

■ 県東部地域から北海道・九州への輸送では、化学工業品や軽工業品の40%～50%が鉄道を利用

県東部から北海道への輸送

県東部から九州への輸送

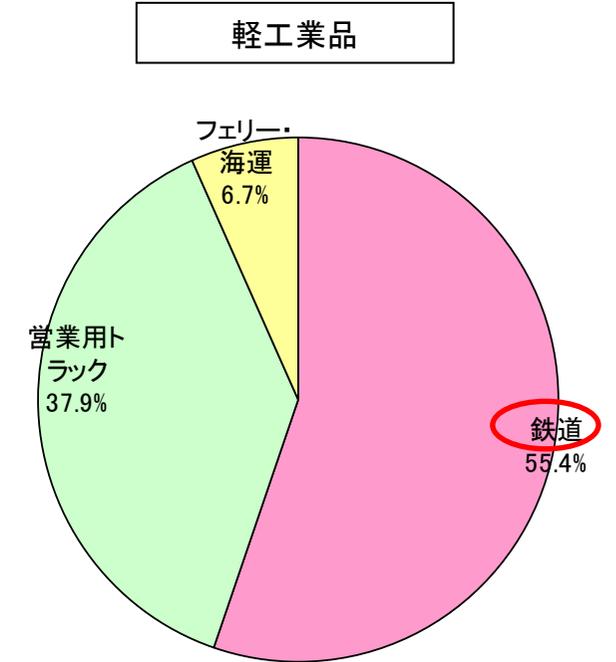
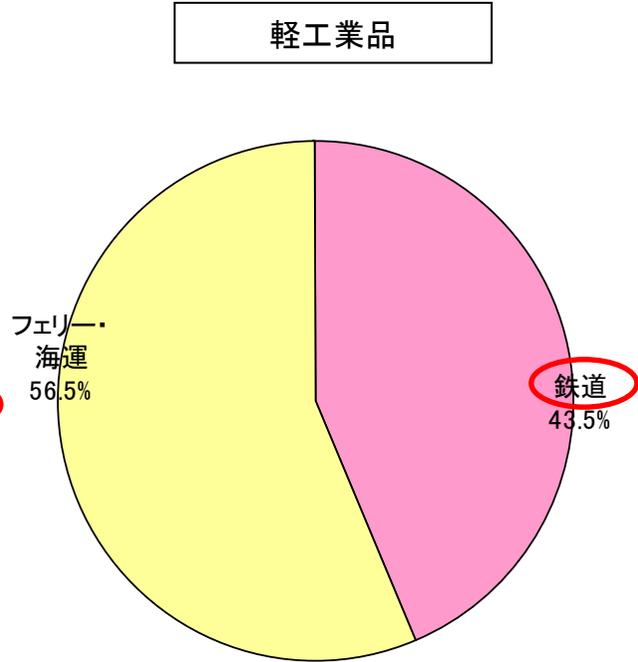
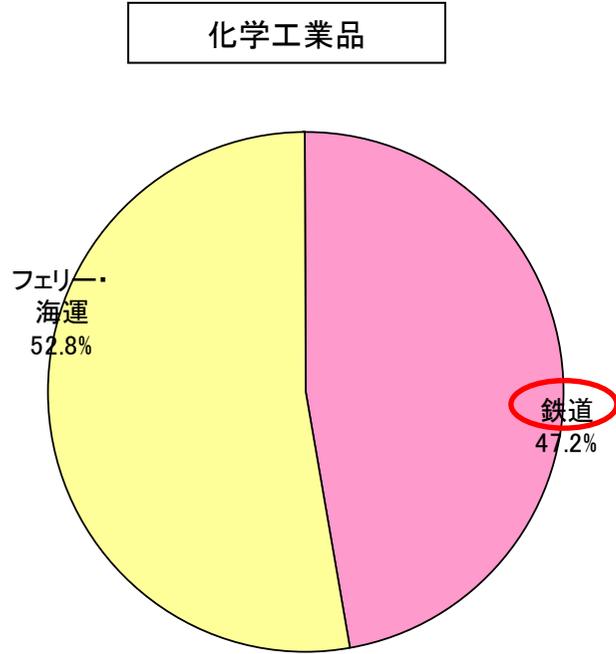


図 県東部発北海道着品目別分担率(トンベース)

図 県東部発九州着品目別分担率(トンベース)

4. 物流／静岡県の鉄道貨物輸送

■ 北海道から県東部への輸送では、農水産品の約80%が鉄道を活用

北海道発県東部着の輸送シェア

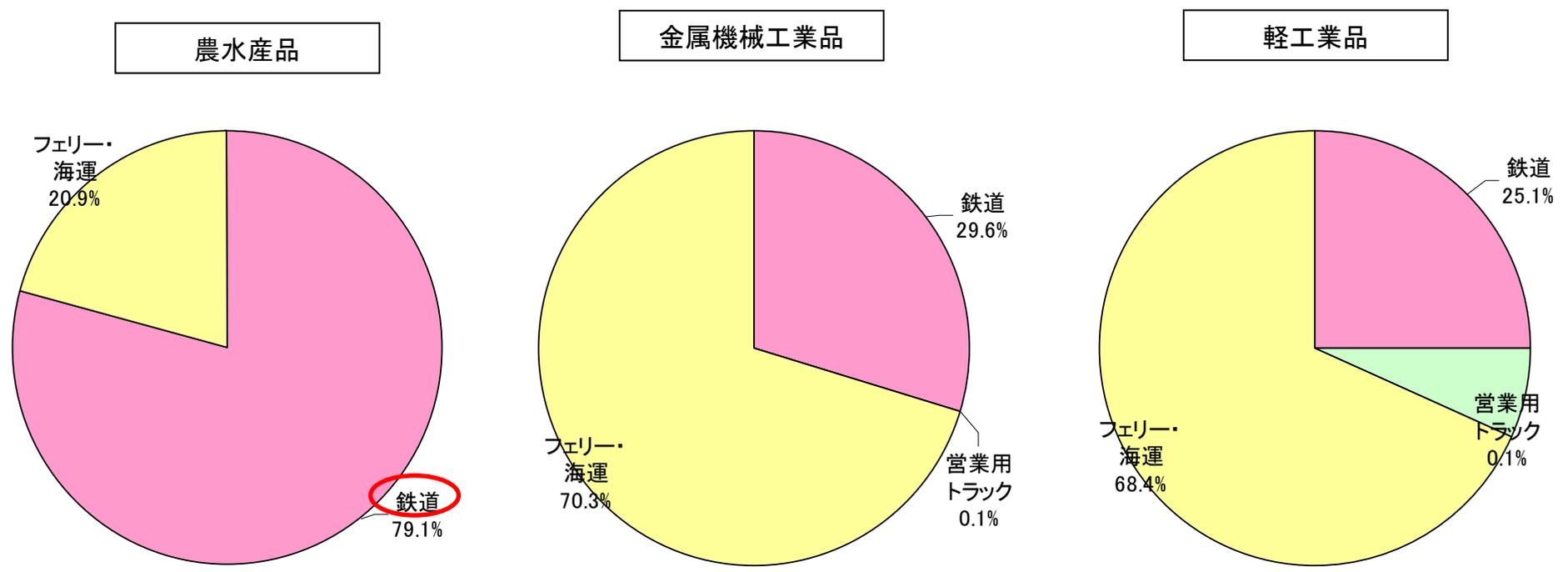


図 北海道発静岡着品目別分担率(トンベース)

4. 物流／東日本大震災における鉄道貨物輸送

■ 鉄道貨物輸送の活躍

○ 震災後、ガソリンや灯油を運ぶ「石油列車」を運行

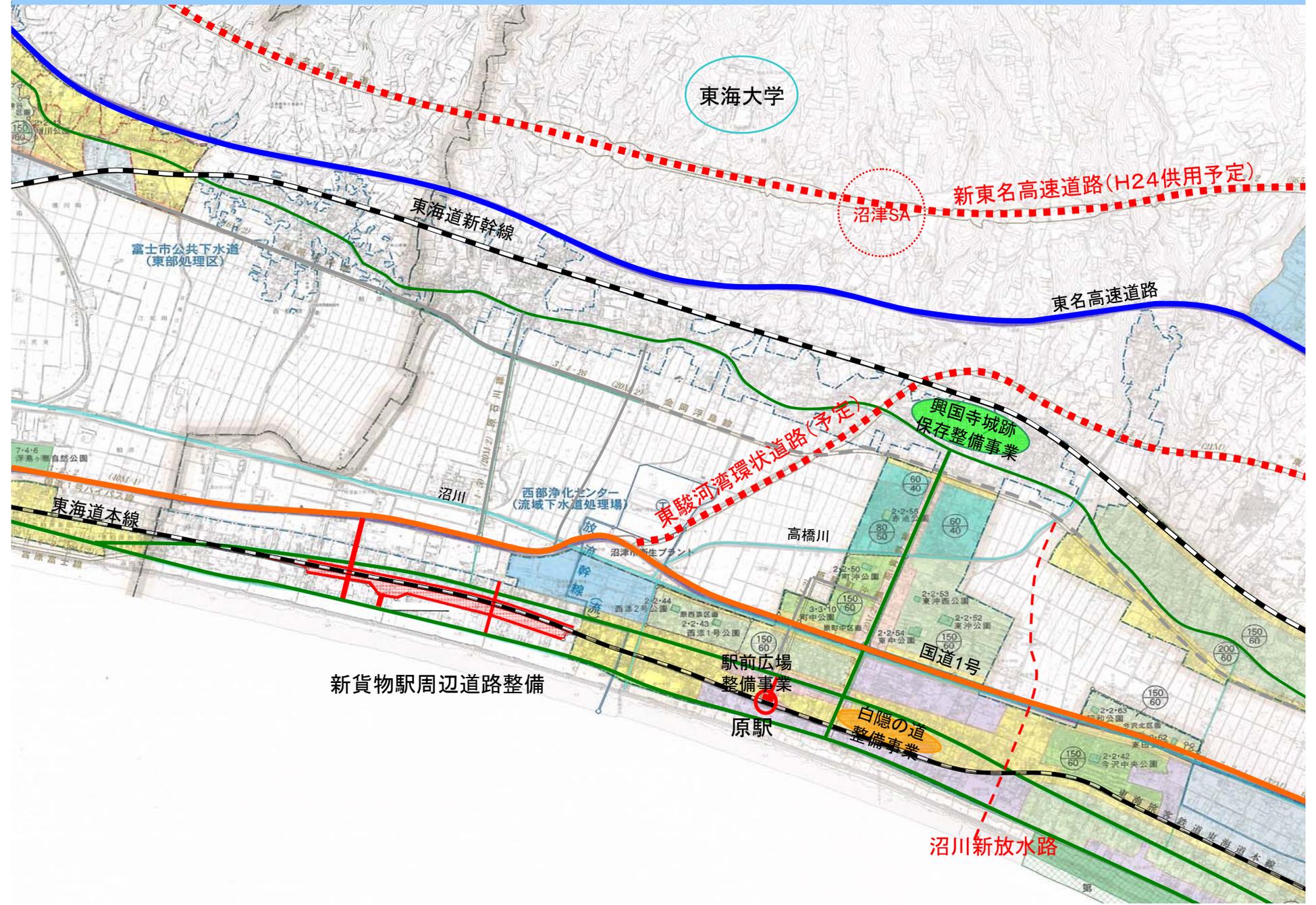
3月18日～ 横浜・根岸駅から上越線、日本海縦貫線で青森から盛岡に入るルートで輸送開始 18両編成。約800キロリットル（20リットルタンクローリーで40台分）

21日～ 1日2往復 第1便（18両編成）、第2便（8両編成）
合計約1200キロリットル（タンクローリーで60台分）

25日～ 復旧した磐越西線を使って郡山へ運ぶルートも運行を開始
10両編成（約600キロリットル）（タンクローリーで30台分）

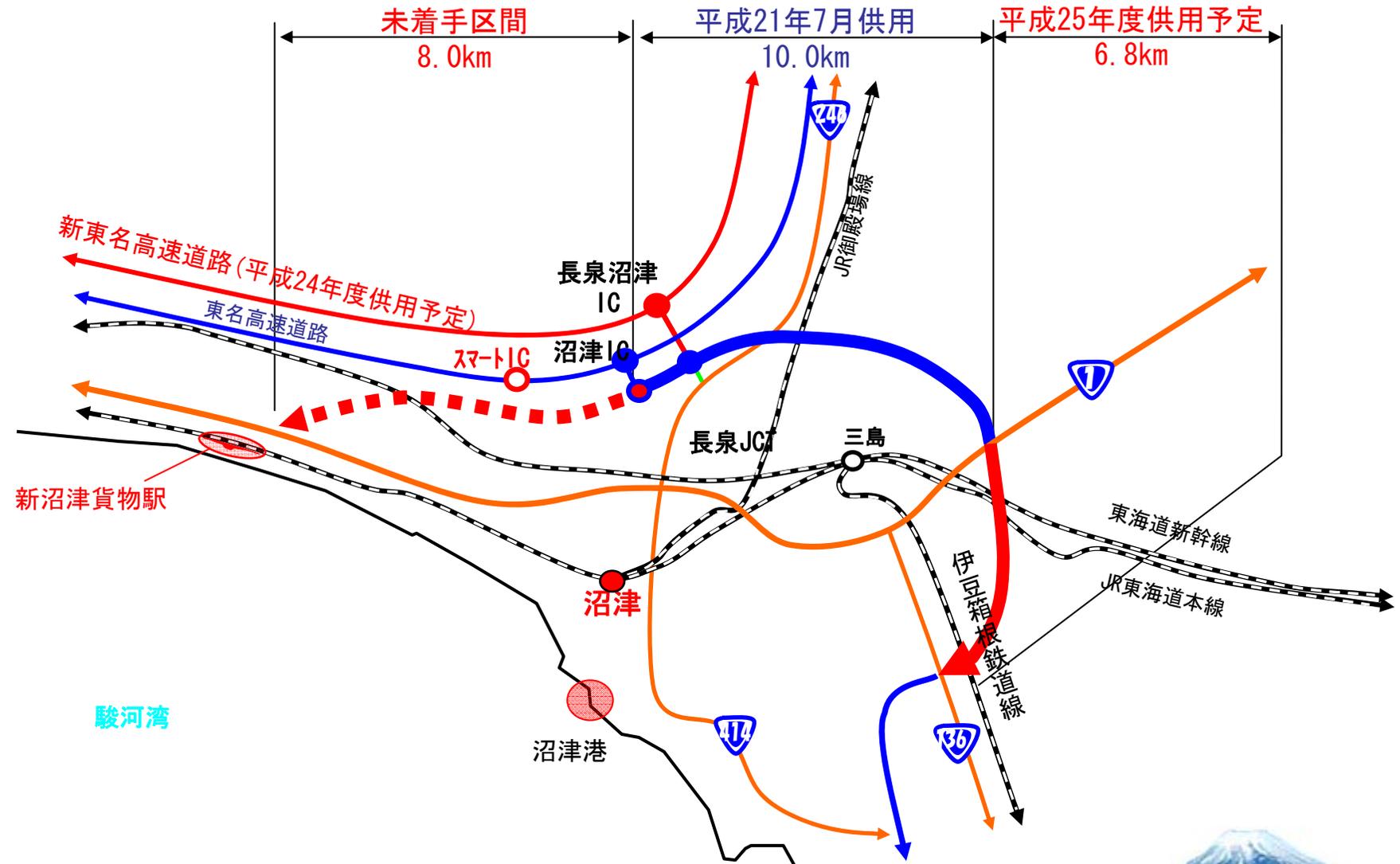
○ 川崎市は、被災地で発生した大量の粗大ごみの一部をJR貨物で川崎市まで鉄道輸送し、ごみ処理場で処分する方針

5. 新貨物駅周辺の基盤整備



5. 新貨物駅周辺の基盤整備／東駿河湾環状道路

東駿河湾環状道路(S62都市計画決定)



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

5. 新貨物駅周辺の基盤整備／沼川新放水路

